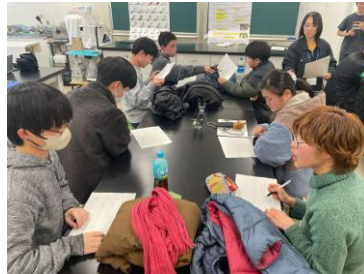


新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 熱い仲間が集う！鏡川水生生物研究会！



2月16日(日)に、土佐高校1年生の小野咲さんが立ち上げたプロジェクト「鏡川水生生物研究会」の会員説明会が開催されました！

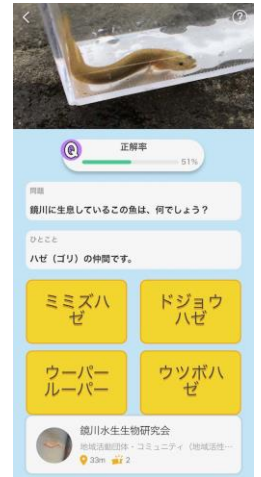
説明会の会場は高知みらい科学館実験室。市内の中学生・高校生とその保護者を中心に、約20名が参加！生きもの、特に水生生物への関心の高い参加者が集まり、活気のある説明会となりました。

小野さんは1月に高知市新エネルギー・環境政策課に来庁し、今後の活動の構想を本課職員に共有しながら、まちのコイン「ぼっちりに」に「鏡川水生生物研究会」を登録！

これまで多数の体験やクイズを作成し、関わりを可視化してきました。



「人には得意分野があると思います。高校生が希少な生物を研究して、今後の鏡川流域を守り伝えていってくれたら本当に心強いですね」  
「私は40代ですが、まだまだ知らないことだらけなので、どんな生物が鏡川にいるのか知ることができたらとても嬉しいです」  
「ミミズハゼ、名前を教えてくださいありがとうございます。ミミズみたいにくねくね動くのですね。ちょっと調べてしまいました」

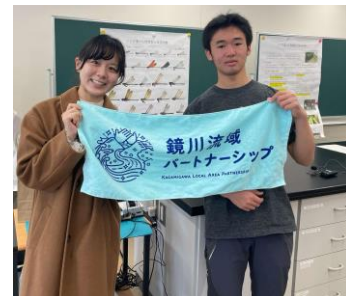


小野さんは幼少期から、魚、特にミミズハゼに関心を持ち、主に鏡川で魚類採集をしてきたそうです。自分を育ててくれた鏡川に恩返しをしたいとの思いから、鏡川水生生物研究会を設立したとのこと！今後は生物判定アプリ「Biome」を活用した魚図鑑の作成や、月に1回のイベントを行い、特に若い世代に自然に触れてもらうための活動に取り組みたいと語る小野さんに、参加者から応援の声が送られていました。

小野さんの熱意に引き込まれ、多くの参加者がこの場で鏡川水生生物研究会の会員に登録！今後の活動が楽しみです！



「県庁所在地の中心を流れているのに、こんなにも水質が優れている鏡川は素晴らしい」と語る小野さん。参加者からは、鏡川での釣りや魚についての質問が飛び交い、熱意のあふれる交流の場となりました！



高知市も、鏡川流域パートナーシップで全力応援！！

鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながり山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！



※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android